

[養護老人ホーム 事業報告]

永年の懸案であった老朽化改築事業が「平成 23 年度熊本市養護老人ホーム整備計画」補助事業として完成するとともに、いずみホームのリニューアルも含めた住環境の整備により、『完全個室化』が実現した。一方、23 年度末にはいずみホームのスプリンクラー設備設置事業が熊本県の補助事業として完了し、防災面においても万全となった。

25 年度は“ハード”面での全面改良の完了をベースに“ソフト”面での充実を図る為に委員会組織を再編成し、各職域のサービス提供における質の向上に努めることが出来た。

- 1、平成 24 年度老朽化改築が終了完成し、本年度、更なるアメニティーの向上に力を注いだ。
- 2、「いずみホーム」の完全個室化並びに「ひかりホーム」との 2 階連絡通路による接続が完成した事で雨天時や防災、消防における避難経路の確保につながった。
- 3、「業務委員会」「レクレーション委員会」により余暇活動の充実を図ることが出来た。
- 4、伝統ある“高齢者の礎”たる「慈愛園」の理念を念頭に“活力ある生活の拠点”としての施設造りを継続事業として益々多様化する高齢者のニーズに対応するための養護老人ホーム利用者を対象とした「ケアパッケージプラン」を個々に策定し利用者の自立生活を支援することが出来た。
- 5、校区社協・町内自治会・地域各種団体等と積極的交流を保ち、施設の地域貢献、社会貢献を実践することが出来た。

[ケアハウス 事業報告]

熊本県内でも先駆的取り組みとして平成 3 年より開設した慈愛園ケアハウスは本年度で 22 年目を迎えることができた。心身ともに健康であるにもかかわらず、家庭環境や住宅事情等の事由により在宅生活が困難な方、また、高齢者の方々の生活基盤である快適住まいとバランスの取れた食事の提供等、豊かで活力溢れるシニアライフを求めて、介護保険制度を利用しながら新たな施設存在意義、役割を確認し利用者の「自立」、「その人らしい生活」の実現を目指し、以下の事業を行うことが出来た。

- 1、本年は 22 年目を迎えた。より洗練されたケアハウスへの取り組みとして時代にマッチしたケアハウスへのステップアップを図り入居者の更なるアメニティーの向上を目指した。
- 2、入居者の高齢化と各年齢層への対応を強化する。
平均年齢 83 歳と入居者の高齢化が進む中、より有効な介護保険制度の利用がその人らしい生活の実現につながる。日常生活の様子観察、体調確認、服薬管

理等、「インフォーマルなサービス」を充実させることにより住み慣れたケアハウスでの生活をより長く続けられるようにサポートする一方、入居者の年齢層に合わせた生活が出来るように介護保険制度を利用し個々に合った相談援助や各種行事、クラブ活動、レクレーション参加を奨励し充実した毎日の実現に力を注いだ。

3、 “活力ある生活の拠点”としての施設

伝統ある「慈愛園」の理念を念頭に、児童施設等との交流を保ち、秋季運動会「遊友小子老デー」や入居者自治会からの小学校新入学児童に入学プレゼントなどを通し総合的福祉の拠点として活動している。また職員で企画実行するサークル的活動も軌道に乗せ希望される方々に楽しんでいただいた。入居者間の自然な交流に結びつき今後も無理なく実施したい。

[訪問介護事業所 事業報告]

事業開始より5年が経過し、養護老人ホームの支援員で介護サービスが必要となった利用者にとって顔馴染みの訪問介護員として、日頃の利用者個々の生活のリズムを踏まえた、真に必要な介護サービスを提供するスタイルが今年も有効に機能していた。

これまでと同様に質の高い訪問介護を策定、これをもとに訪問介護員自らが高い専門性と接遇マナーをもってサービスを提供するために内部研鑽を積む一方、外部の介護職員研修にも積極的に参加した。

今年も、主として養護老人ホームの生活を基盤とした中での、常に利用者本位の介護サービスを提供することにより、介護が必要となった利用者の日常生活に安定をもたらすとともに、それぞれの身体状況に応じた自立促進のための支援が出来た。

事業指針実践報告

- (1) 利用者の意思を尊重した利用者本位の介護サービスを提供した。
- (2) 的確なアセスメントで質の高い介護計画を策定、実施した。
- (3) 定期的な訪問介護計画の見直しを行った。
- (4) 家族との連携を密にし、利用者に関する情報把握に努めた。
- (5) 訪問介護員の積極的研修参加を図り、自己研鑽による専門性の向上に努めた。
- (6) 介護予防訪問介護サービスに即応できる体制に努めた。
- (7) 訪問介護事業所対応ソフト導入による管理業務の効率化を図り合理的かつ円滑なサービス管理に努めた。
- (8) 職員の研修・教育を実施した。

事業所内研修（ヘルパー研修）の充実

「介護サービスの情報公表」に基づいた事業所内研修のあり方を検討し養護老人ホーム、ケアハウスの職場研修において共通課題として資質向上に努めた。

< 年間行事活動等 >

開催	名 称	実 施	実 施 状 況
4 月	お花見 互助会総会・演芸会	養護 共通	熊本城、健軍自衛隊通りの桜並木見物 入居者互助会の総会と合同の演芸会
5 月	「子供の日」お祝い 春の天草日帰り旅行 湖東中、応援団演舞披露 動・植物園見学 日帰り天草旅行	共通 共通 共通 共通 ケア	子供ホーム、ライトハウスへ互助会よりお祝い 恒例の温泉旅行、天草の藍の岬ホテル利用 運動会のときの応援団の演舞を披露する 動物園、植物園に出かけ春の草花に親しむ 天草浜子浦利用
6 月	神水幼稚園花の日訪問	共通	「花の日」にちなみ園児がお花のプレゼント
7 月	七夕飾り 湖東中体育クラブ訪問 神水教会合同慰霊祭	共通 共通 共通	七夕に合わせて短冊を作り各ホームに立てる 体育クラブ学生の夏休み歌の訪問 過去 1 年間のお亡くなりの方々の慰霊式
8 月	ヘアトリートメント奉仕	共通	散髪屋さんのグループによる散髪のご奉仕
9 月	敬老お祝い夕食会 敬老お祝い会 13 日 紫紺会「飾り馬」来訪 「遊友小老デー」運動会	共通 共通 共通 共通	「敬老の日」にちなみ行事食にてお祝いする 午後のひとときに敬老お祝い会行う。 「藤崎宮大祭」にちなみ飾り馬のお披露目来園 秋の恒例の慈愛園の子どもからお年寄り運動会
11 月	「感謝祭」園児訪問 外食レクレーション クリスマス点灯式	共通 共通 共通	神水幼稚園園児による感謝祭・収穫祭の訪問 入居者の希望に合わせて外食メニューで楽しむ 「うなぎのとくなが」「浜子浦」 子どもホームグラウンドにての一斉点灯式
12 月	ホームクリスマス サンタクロース訪問 クリスマスキャロリング ルーテルクリスマス訪問 おもちつき	共通 共通 共通 共通 共通	職員の聖歌隊賛美歌と牧師のお話でお祝いする 牧師の扮するサンタ訪問を楽しむ イブの夜に神水教会より聖歌隊が歌の訪問する ルーテル学院中等部の生徒さんの出し物訪問 入居者と職員でお正月の準備でもちつき行う
1 月	年始挨拶・福引大会 新年ゲーム大会	共通 共通	新春の挨拶と福引大会で新年の福を分かち合う 新春恒例のカルタ会やすごろく大会等を実施
2 月	節分豆まき 植木市見物	共通 共通	老人ホーム食堂にて豆をまき厄払いをする 恒例の農業公園の植木市を見物する
3 月	ひなまつり 第 17 回砂取まつり	共通 共	食堂やロビーにひな壇飾り行事食を楽しむ 地域の恒例行事、食バザー等で楽しむ

< 趣味・娯楽活動 >

サークル名等	実施	回数	実 施 状 況
誕生会	共通	毎月	14時にその月の誕生者に記念品を渡しお祝いする。
お花	養護	月1回	池の坊流師範の先生のご指導で生け花習う。
ひまわりクラブ	養護	週1回	カレンダー作成や、クリスマスの時期にはモール等も作る。
一日喫茶	養護	月1回	いずみ2階ラウンジで簡単なメニューで喫茶を楽しむ。
朝の集い	共通	毎水曜	朝のひとときに神水教会牧師の説話に傾聴する。
映写会	養護	月1回	日曜日の午後のひととき、時代劇や邦画等を楽しむ。
生き生きクラブ	ケア	月1回	職員指導にて高齢者向けのストレッチ体操を行う。
健康体操	ケア	月1回	ボランティアの指導にて手遊び等の簡単な運動する。
絵手紙	ケア	月2回	千代紙や和紙を活用し水彩画等で絵手紙作成する。
菓子販売	共通	月2回	町のお菓子屋さんの訪問販売で買い物を楽しむ。
衣類販売	共通	年2回	洋装店より衣類の展示即売を行い、お洒落を楽しむ。

< ボランティア・寄贈品等の受け入れ >

グループ名等	対象	実施	活 動 状 況
バイクドポテト	共通	偶数月	隔月で休業日に来訪し、入居者のカットを無償で提供。
松尾グループ	ケア	月1回	女性グループで月1回の清掃奉仕。男性は年2回、奉仕。
九州動物学院	共通	月1回	数種のおとなしい愛犬を連れてきて動物とふれあう。
ダスキン熊本	共通	12月	年末に日頃、手の届かない箇所を清掃奉仕いただく。
日本たばこ(株)	共通	9月	「敬老の日」にちなみ愛煙家にたばこのプレゼント。
大同青果	養護	12月	新鮮な旬の野菜を市場から沢山、届けてくださる。

[研修会参加状況]

研修会名	開催日	参加職種	研修会名	開催日	参加職種
介護認定研修会	4月9日	施設長	市老協施設長研修	10月3日	施設長
新任職員研修会	4月22日	支援員・調理員	防火対象物更新研修	10月8日	施設長
ビジネスマナー研修	5月14日	支援員・調理員	社会保険研修	10月9日	事務員
市社連総会	5月15日	副施設長	日赤救急法研修	10月15日	支援員
熊本市監査説明会	5月16日	事務主任	養護セミナー	10月16日	支援員
日本社会福祉士会研修	5月26日	施設長	感染対策研修	10月21日	看護師
ビジネスマナー指導編	5月31日	支援員	ケア相談員研修	10月24日	相談員
県老協新任研修会	6月4.5日	支援員・調理員	第2回ワークショップ	10月24日	施設長
産業保健研修会	6月5日	事務主任	養護連絡協議会	10月25日	相談員
不在者投票説明会	6月6日	相談員	福祉レク研修	11月6日	支援員
養護連絡協議会	6月12日	相談員	リスクマネ研修会	11月7日	事務主任
認知症セミナー	6月18日	施設長	成年後見人研修	11月8日	相談員
レクレーション研修	6月21日	支援員	感染対策研修	11月10日	看護師
栄養士・調理員研修	7月1日	栄養士・調理	社会保険事務研修	11月10日	事務主任
訪問介護サ責研修	7月3日	サ責担当者	市老協施設長研修	11月15日	施設長
訪問介護記録研修	7月9日	支援員	養護職員研修会	11月22日	相談員・支援員
市栄養・調理研修	7月11日	栄養士・調理	高齢者権利セミナー	11月22日	事務主任
九州社会連合研修	7月25日	支援員・調理	リスクマネジメント研修	11月26日	支援員
県老協中堅職員研修	8月6日	相談員	ビジネスマナー研修会	12月2日	事務員
スーパーバイザー研修	8月27日	相談員	感染対策研修	12月10日	看護師
認知症ケア研修	8月21日	サ責人者	パワハラ防止研修	2月4日	事務主任
レジオネラ研修	9月6日	支援員	認知症精神疾患研修	2月8日	施設長
軽費ケア施設長研修	9月12日	施設長	苦情解決委員研修	2月18日	施設長
社会保険実務研修	9月24日	事務主任	会計事務研修会	2月25日	事務員

[施設整備・修繕および固定資産物品の取得]

* 施設整備・修繕

施 設	施設整備・修繕内容	金 額	備 考
老人ホーム	消防用設備不具合改修	157,500円	
"	消防用スポット感知器改修	42,000	
"	いずみホームエレベーター改修	451,500	
"	いずみホーム畳替え	113,400	
"	ボイラー循環ポンプ取替改修	54,810	
	合 計	819,210	
ケアハウス	301号室改修	99,750	
"	食堂アコーデイオンカーテン取付	266,700	
"	ナースコール設備アンテナ改修	2,467,500	
	合 計	2,833,950	

* 固定資産物品の取得

施 設	固定資産物品名	金 額	備 考
老人ホーム	ひかり食堂半ドーナツ型テーブル	122,325円	
"	事務所パソコン	420,000	
"	電動ベッド2台	300,425	
	合 計	842,750	

訪問介護事業所 年間実績

(1) 介護サービス提供の内容

区分・月	実利用人員	介助起床	介助就寝	食事朝食	食事昼食	食事夕食	入浴週3・60分	入浴週3・30分	延利用人員
4月	16	3	4	2	2	2		13	26
5	15	3	4	1	1	1		12	22
6	15	3	4	1	1	1		12	22
7	14	2	3	1	1	1		12	20
8	14	2	3	1	1	1		12	20
9	14	2	3	2	2	2		11	22
10	14	2	3	2	2	2		11	22
11	13	1	2	2	2	2		10	19
12	13	1	2	2	2	2		10	19
1	14	2	3	2	2	2	7	4	22
2	13	1	2	2	2	2	6	4	19
3	13	2	3	2	2	2	6	4	21
延計	168	24	36	20	20	20	19	115	254

(2) 介護サービスの提供の回数

区分・月	ヘルパー実人員	介助起床	介助就寝	食事朝食	食事昼食	食事夕食	入浴週3・60分	入浴週3・30分	提供回数	単位数合計
4月	9	82	120	60	47	60		169	538	159555
5	9	85	124	31	19	31		164	454	135901
6	9	67	100	30	17	30		148	392	116663
7	10	62	93	31	19	31		163	399	117778
8	9	62	93	27	16	26		160	384	113550
9	9	60	90	60	60	60		140	470	138132
10	9	42	72	62	62	62		137	437	127151
11	10	30	60	60	60	60		130	400	115647
12	10	31	62	62	62	62		128	407	117829
1	10	40	70	62	62	62	76	44	416	133036
2	10	28	56	56	56	56	72	41	365	116665
3	10	62	93	44	43	43	76	44	405	131928
延計	114	651	1033	585	523	583	224	1468	5067	1523835

(3) 介護度別利用状況

平成 26 年 3 月現在

区分 要介護度	利用 実人員	介助 起床	介助 就寝	食事 朝食	食事 昼食	食事 夕食	入浴週 3・60分	入浴週 3・30分	延利 用数	通所 介護
5	0									
4	0									
3	7	2	3	2	2	2	3		14	2
2	5						1	3	4	1
1	6						2	1	3	3
支援 2	0									
支援 1	0									
延計	18	2	3	2	2	2	6	4	21	6

老人ホーム

(1) 年齢別・性別の状況

平成 25 年 12 月 2 日現在

年齢・性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男			4	4	5		1	1		15	79.0
女			4	9	11	9	15	5		53	84.9
計			8	13	16	9	16	6		68	83.7

(2) 在籍期間の状況

平成 25 年 12 月 2 日現在

期間・性別	1年未満	1~3年	3~5年	5~10年	10~15	15~20	20~25	25~30	30以上	合計	平均
男		6	2	5	2					15	5年7
女	9	13	8	12	6	3	1		1	53	6年1
計	9	19	10	17	8	3	1		1	68	6年0

(3) 要介護度の状況

平成 25 年 12 月 2 日現在

自立	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
25	9	13	11	5	5			68

ケアハウス

(1) 年齢別・性別の状況

年齢・性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男			2		1	2	1			6	80.3
女		1	1	7	8	8	4	2		31	83.3
計		1	3	7	9	10	5	2		37	82.8

(2) 在籍期間の状況

期間・性別	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10～15	15～20	20～25	25～30	30以上	合計	平均
男		2	1	2		1				6	5年8
女	7	4	5	13		1	1			31	4年8
計	7	6	6	15		2	1			37	5年0

(3) 要介護度の状況

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
17	7	4	5	2	2			37

(4) 入院者数について H25.4.1～26.3.31 老人ホーム

内科	外科	呼吸器科	循環器科	精神科	その他
26	14	6		6	

ケアハウス

内科	外科	呼吸器科	循環器科	精神科	
20	12	2	2	1	

(5) 税額等の階層区分 老人ホーム

生保被保護	非課税世帯	課税均等割	課税所得割	所得課税世帯	合計
15	53				68

ケアハウス

生保被保護	非課税世帯	課税均等割	課税所得割	所得税世帯	合計
0	32	5			37

(6) 入居者の入居前の居場所 老人ホーム

自宅	子供・親族	病院	精神科HP	ケアハウス	有料ホーム	サ高住	救護施設	合計
25	24	10	6	1			2	68

ケアハウス

自宅	子供・親族	病院	養護老人	ケアハウス	有料ホーム	サ高住	その他	合計
26	7		1	2			1	37

(7) 退所者について H25.4.1～26.3.31 老人ホーム

在宅復帰	他施設	老健施設	一般医療	精神入院	施設死亡	入院先死亡	合計
	6		3	1		6	16

ケアハウス

在宅復帰	老人施設	老健施設	一般医療	精神入院	施設死亡	入院先死亡	合計
1	7	1				1	10